

防災まちづくり部門の紹介

広田純一（部門長）

防災まちづくり部門の任務

- ▶ 東日本大震災の教訓を踏まえた災害に強いまちづくりに関する研究、ならびに復興まちづくりに関する研究を、ソフト・ハードの両面から進めていきます。
- ▶ 3つの部門があります。
 1. 地域計画分野
 2. 社会基盤分野
 3. 災害情報分野
- ▶ 学部横断的なスタッフで構成されています。
 - ▶ 工学部＝南正昭、大西弘志、小山田哲也、小林宏一郎、本間尚樹、農学部：広田純一、三宅論、人文社会科学部＝松岡勝実、教育学部＝田中隆充
 - ▶ 特任研究員＝菊池 義浩

1. 地域計画分野

- ▶ 防災まちづくり、および復興まちづくりに関する研究を、主に**ソフト面**からアプローチする部門。
- ▶ 東日本大震災に関しては、被災市町村・地域コミュニティにおける従前の防災体制を再検討し、その課題整理を通じて、**津波災害に強い防災まちづくり**のあり方を明らかにします。
- ▶ 同様に、震災後の救援・応急復旧の対応、ならびにその後の復興計画の策定と復興まちづくりの過程を詳しく分析することを通じて、**今後の復興まちづくりのあり方**を明らかにします



2. 社会基盤分野

- ▶ 防災まちづくりに関する研究を、主に**ハード面**からアプローチする分野。
- ▶ 東日本大震災では大津波によって多くの施設・構造物が壊滅的な被害を受けました。それらの構造・配置上の問題点を解明し、**津波災害に強い社会基盤施設**の設計と配置を研究します。



3. 災害情報分野

- ▶ 防災まちづくりに関する研究を、**情報面**からアプローチする分野。
- ▶ 東日本大震災の直後、被災地内、および被災地と外部との**情報の断絶**が、生存者の救出や安全確保、支援物資の供給等に深刻な影響を及ぼしました。
- ▶ また日頃の防災情報の提供の仕方にも課題がありました。
- ▶ こうした教訓を踏まえて、災害時に**真に有効な災害情報システムの構築**を目指した研究を進めます。

